

令和5年3月9日

足立区立栗島学校
校長 淵脇 薫 様

足立区立栗島小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 鍋谷 哲司

令和4年度 栗島小学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

■重点的取り組み事項-1 学力向上プラン

成果目標の75%が実施結果83.3%になったことに対して学校の「B目標実現に向けた取り組み内容」を大きく評価する。

B 実現に向けた取り組みの評価

- ① AIドリルの活用で提出率90%以上を達成できたことは、家庭学習がある程度定着していると考える。
- ② 淵脇校長が赴任し、詩の朗読に力を入れており継続されていることを評価する。
- ③ 教員の授業力向上について校内研修や研究授業、区小研参加の成果が道徳公開授業や学校公開において確認でき、授業参観肯定的評価も8割であること。

■重点的取り組み事項-2 豊かな人間性の育成

成果目標の肯定的評価80%としたが実施結果で学校が楽しいと答えた割合が84.7%となった。

B 実現に向けた取り組みの評価

- ① みそあじの目標80%以上として88.8%で達成。児童間に浸透している。
- ② 読書活動の推進において年間読書冊数が目標を越え2.6万冊になったこと。また外部との連携による読み聞かせやお話し会の実施、中井貴恵さんによる絵本朗読など、児童に多様な機会を作りだしている点を高く評価する。

■重点的取り組み事項-3 体力の向上

達成基準は前年度東京都体力調査との前年度比較
ほぼ、全学年において区の平均を上回った。

今年度は校庭の人工芝化工事があり一部の期間外遊びができなかったが、来年度は、さらに児童の体力向上を目指して学力・体力両方の向上を目標としてほしい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

□ 課題について

学力向上については、日々の積み重ねが大切であり、達成率の目標未到達の学年には粘り強く丁寧な指導が求められる。

総じて、児童ひとり一人に寄り添った学習指導が肝要であり、習熟度やモチベーションに合わせた学習に努めてください。

また、つまずきには即時対応して「分かる授業」に努めてください。

A Iドリルや学習教材を活用し、タブレット授業のメリットを推進してください。

□ 保護者・地域について

コロナの収束が進むことにより、保護者の学校事業への参加機会が増えてくると思われます。まずは、PTA活動を徐々に再開させ、学校と保護者の交流から学校への理解、支援につながっていくと思われまます。

地域についても、開かれた学校づくり協議会が強力な応援者となり、学校と共に創立70周年記念事業に取り組んでまいります。

3 その他

保護者アンケートから

- ①コロナ禍でもR3よりもR4の方が肯定的な回答が多かった。(学校が楽しい・学習につまずきのあるある児童への補習・情報の適切な提供等)
- ②一方、家庭では朝食をとっているかどうか分からない。ゲーム・携帯スマホのルールを守るなど、努力してほしいの割合があり、家庭に起因する事柄へ家庭の理解・協力をさらに求めていく必要がある。
- ③いじめや不登校についての回答が、学年全体で20%以上「分からない」とある。この点についても積極的に学校の取り組みを発信してください。

4 まとめ

学校公開や行事で学校へ訪問した際に、掲示物で学年の学習状況や取り組みを知ることができて、このような掲示物による取り組みを評価します。

また、階段や職員室前廊下での掲示物で、九九や簡単な英単語、音楽の作曲家名前あてクイズなど、工夫した掲示をしており、子どもたちの学びの環境づくりに貢献しています。